

平成21年度岡山県食品衛生監視指導計画に基づく 監視指導結果（概要）について

食品衛生法の規定により定めた「平成21年度岡山県食品衛生監視指導計画」に基づき実施した監視指導、試験検査、自主管理の推進、リスクコミュニケーションの充実についての結果は、次のとおりである。

なお、この結果は、県の計画に基づいたものであり、岡山市分及び倉敷市分は含まれておりません。

1 監視指導結果

飲食店、食品製造施設、学校給食施設等を対象に施設・設備の衛生管理、食品の衛生的な取扱い等の指導を実施した。

対象施設数	監視目標数	監視指導結果	目標達成率(%)
24,778	21,490	19,392	90

2 試験検査結果

(1) 収去検査^{注1}

検査目標検体数	検査実施検体数	違反件数
3,000	3,597	7 ^{注2}

注1：収去検査とは、食品衛生法に基づき、流通食品を無償で譲り受け違反の有無等を確認するための行政検査である。

注2：違反の内容は、野菜の農薬残留による規格基準違反（ホウレンソウからインドキサカルブ(殺虫剤) 0.57ppm、オキサミル(殺虫剤)0.07ppm、ジメトモルフ(殺菌剤) 0.02ppm 検出。基準値はいずれも 0.01ppm 以下) 1件、生食用かきの規格基準違反(E.coli 最確数超過) 1件、生食用かき加工基準違反（養殖海域海水の大腸菌群最確数超過）5件であり、回収命令、加熱用への転用を指示するとともに、原因究明及び再発防止の指導等を実施した。

(2) 腸管出血性大腸菌対策

県内に流通する食肉野菜等を対象に、腸管出血性大腸菌の汚染実態調査を実施し、加熱用牛レバーからのみO157を検出した。

検体数	検出	不検出
207	1	206

(3) 買上検査

輸入食品の買上数を90件増やし、農薬、メラミンの検査を実施した。

検査区分	検査項目	検査目標 検体数	検査実施 検体数	検査結果
有害物質モニタリング調査	重金属・農薬・TBTO・PCB	62	62	すべて適
遺伝子組換え食品検査	遺伝子組換え食品	30	34	すべて適
アレルギー物質の検査	アレルギー物質	20	20	すべて適
輸入冷凍食品等買上検査	農薬・メラミン	90	90	すべて適
輸入原材料等買上検査	農薬	30	30	すべて適

(4) 食品苦情及び食中毒発生時の原因究明のための検査

	検査実施検体数
食品苦情検査	273
食中毒検査	108

(5) と畜検査

区分	検査頭数	全部廃棄頭数	一部廃棄頭数
牛	5, 137	182	3, 034
馬	11	0	0
豚	361	1	235

(6) BSE等スクリーニング検査（全頭検査）

検査頭数	陰性	要確認検査
5, 137	5, 137	0

3 自主管理の推進

広域流通食品等事業者を中心に自主管理体制の整備等について指導を実施した。岡山県食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例に基づく自主回収の報告が8件あり、回収措置が適正に行われるよう指導した。

4 リスクコミュニケーションの充実

食品の摂取によって人の健康に悪影響が起きるリスク（危険性）について正しい理解を広めるため、講習会等を通じた情報提供、消費者、食品等事業者、行政相互間での情報交換、意見交換等を実施した。

(1) 食の安全相談窓口での対応 2, 329件

(2) 衛生講習会の開催

対象者	実施回数	参加人数
営業者・従事者	81	3, 384
集団給食従事者	44	2, 214
一般消費者等	44	1, 276
計	169	6, 874
体験型講習会(再掲)	59	2, 098

(3) 視察型研修の実施

(社)岡山県食品衛生協会への委託による事業 6回(286人)

(4) 食の安全サポーター拡大事業

登録者数：53団体

配信回数：4回

(5) 「検定一晴れの国おかやまの食ー」

実施日：平成21年10月25日（日）

実施場所：岡山県立大学及び津山保健センター

受験者数（合格者数）：78名・3組（68名・3組）

※一般検定の部、親子検定の部を実施

(6) リスクコミュニケーターの養成、育成

講座、研修会等の開催：6回

参加者数：163名